

2009年4月20日
博報堂エルダービジネス推進室

HOPEレポートX XⅧ 団塊夫婦調査② 「夫婦関係改善の手立て」

団塊夫婦歩み寄りのカギは「夫の感謝と行動」！

「感謝の言葉」を言って欲しい 妻⇒48.4%

「自分に対する思いやりは行動であらわして欲しい」 妻⇒52.3%

実は、8割前後が夫婦ともにいつまでも素敵なパートナーでいたいと思っている。

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しております。2007年から始まった「団塊のリタイア」も、いよいよ3年目を迎えます。このたび、今年3月に全国の58～62歳（520名）の調査した結果を中心に「夫婦関係改善の手立て」について分析した結果をまとめましたので、4月22日の「よい夫婦」を前に発表いたします。

4月9日発表の「HOPEレポートX XⅧ：団塊夫婦調査①」では、引き続き「夫婦のすれ違い現象」がみられ、「夫に謝ってほしい妻は4人に1人いる」、また「夫にガッカリした経験を持つ妻は8割いる」ことがわかりました。では、夫はどうすれば夫婦関係を改善できるのでしょうか。

まず第一番目に、女性は5割近くが、相手から「感謝の言葉」を言って欲しい、と思っており、感謝を言葉であらわすことが求められています。

夫が妻に改善してほしいことは、1位「一緒に旅行」、2位「相手（夫）を責めないで」です。「そんなに責めないで旅行でも行こう」と思っているのに対し、妻が夫に望むのは、1位「相手（妻）の事情・状況も考える」、2位「もっと相手を思いやる」が上位にきており、「そんなことより、もっと相手（妻）のことを考えて欲しい」と思っているようです。

三番目に、妻は自分のことを考えてもらうときは、精神的なことだけでなく、行動であらわして欲しい（52.3%）と思っています。

一方、おカネの使い方について、夫は、1位「夫婦のため」、2位「支障のない範囲で妻にも使ってもらいたい」3位「自分のため」となっています。しかも、夫の11.9%は妻のためにおカネを使いたい、という結果も出ています。総じて夫の気持ちは「妻にはおカネを使ってもらってもいい」とも言え、妻もその気持ちは受けとめたほうがよさそうです。

いまの相手と「いつまでも素敵なパートナーでありたい」、も男女で10%の差はあるものの男性88.1%、女性77.7%と、本当はお互いに素敵な夫婦になりたいと思っています。夫は感謝と何か相手を思いやる行動、妻は夫の気持ちを理解すれば、夫婦が歩み寄り、素敵なパートナーとなることができると思われます。

次ページ以降で、詳細の調査データを紹介いたします。

本件に関するお問い合わせ

博報堂 広報室
エルダービジネス推進室

西尾・黒河
阪本

Tel: 03-6441-6161
Tel: 03-6441-4363

添付資料：調査データ

調査概要

調査時期：2009年3月

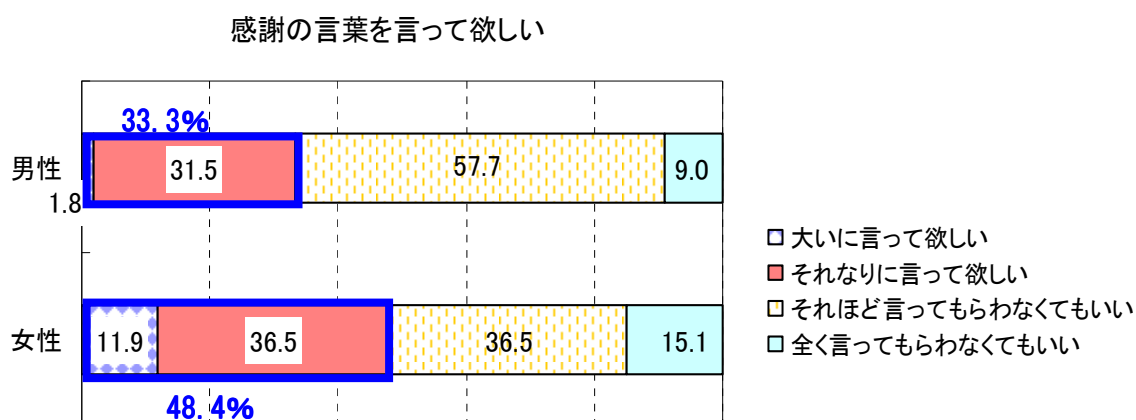
調査地域：全国

調査対象：団塊世代（58才～62才）男性260名、女性260名 計520名

調査方法：インターネット調査

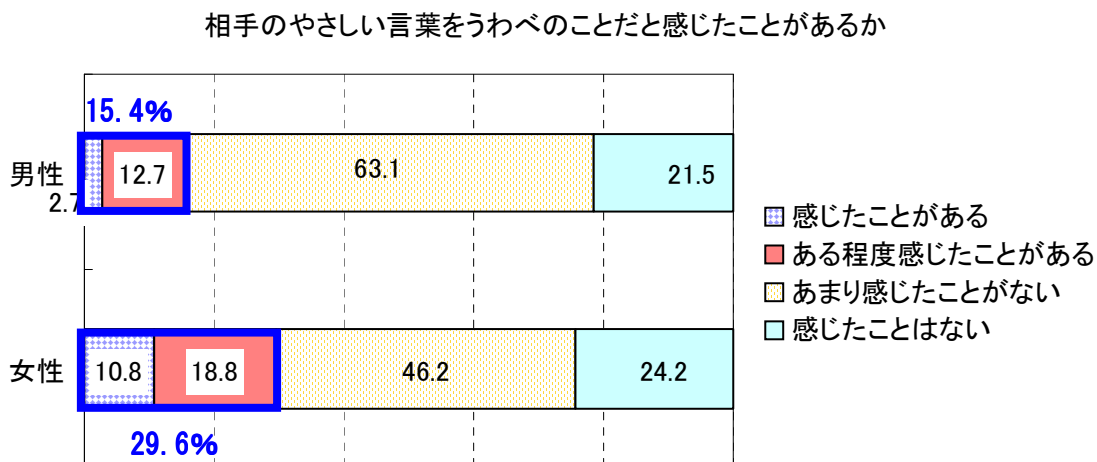
◇相手から感謝の言葉を書いて欲しい割合も女性は5割近いが、男性は3割

いままで相手から自分への感謝の言葉をあまりかけてもらっていないので、感謝の言葉を書いて欲しいと思う男性は33.3%に対し、48.4%と5割に近い女性が感謝を言葉であらわして欲しいと思っています。



◇「相手のやさしい言葉をうわべのことだと感じた」割合も、男性は1.5割。女性は3割と男性の2倍。

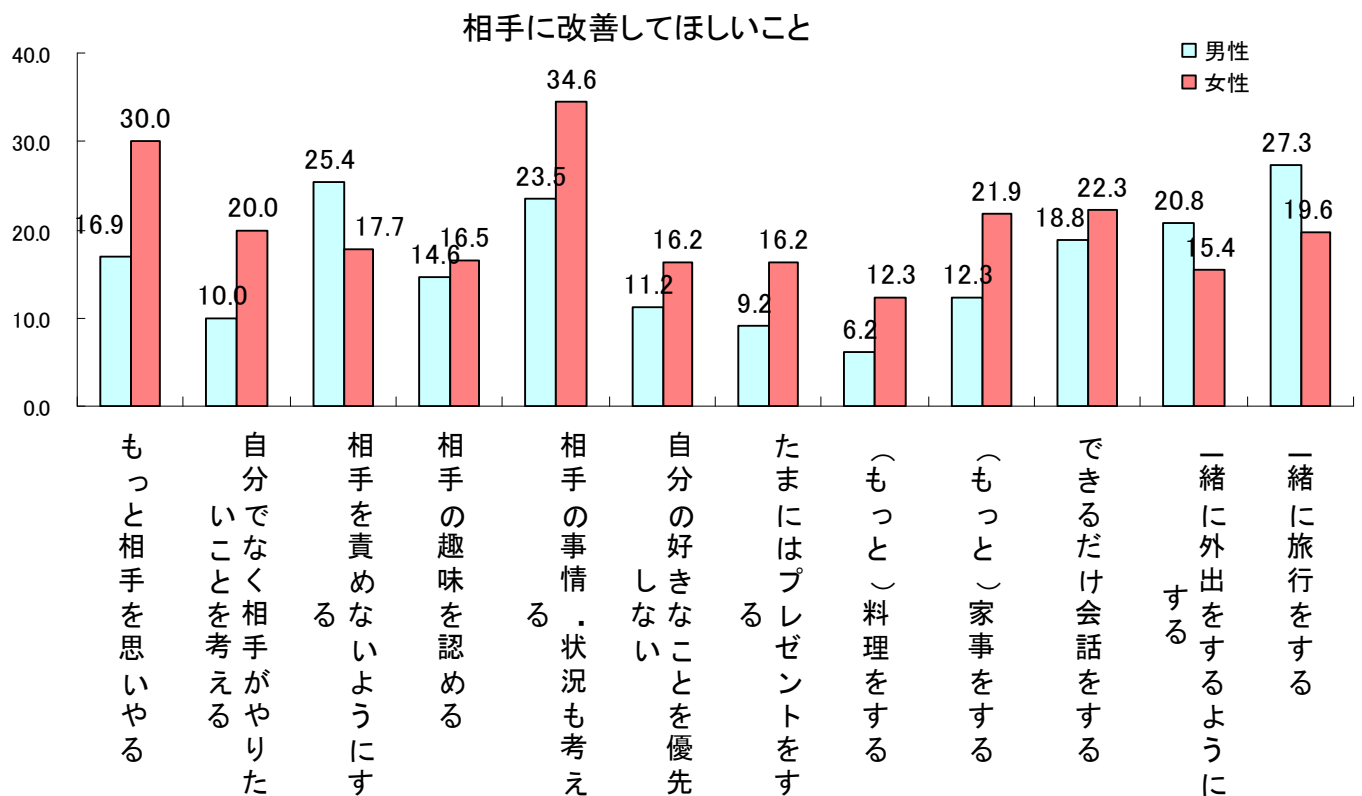
今の相手のやさしい言葉をうわべのことだと感じているのは、男性は15.4%しかいないが、女性は男性の約2倍の29.6%。夫は、リップサービスだけをしていても女性はうわべだけと感じてしまい、見抜かれてしまうようです。



◇「そんなに責めないで旅行でも行こうよ」と思っている夫に対し、「そんなことより、もっと相手のことを考えてよ」と思っている妻

相手に改善してほしいことで、夫が妻に望むのは、一緒に旅行をする（27.3%）、相手を責めないようにする（25.4%）。これに対し、妻が夫に望むのは、1位は相手の事情・状況も考える（34.6%）、2位はもっと相手を思いやる（30.0%）、続いて「会話」（22.3%）、「家事」（21.9%）となり、「もっと会話をして、家事もしてほしい」と思っている。

夫婦関係改善のポイントは、夫は妻のことをもっとよく見て、何をすべきかを考える必要があります。

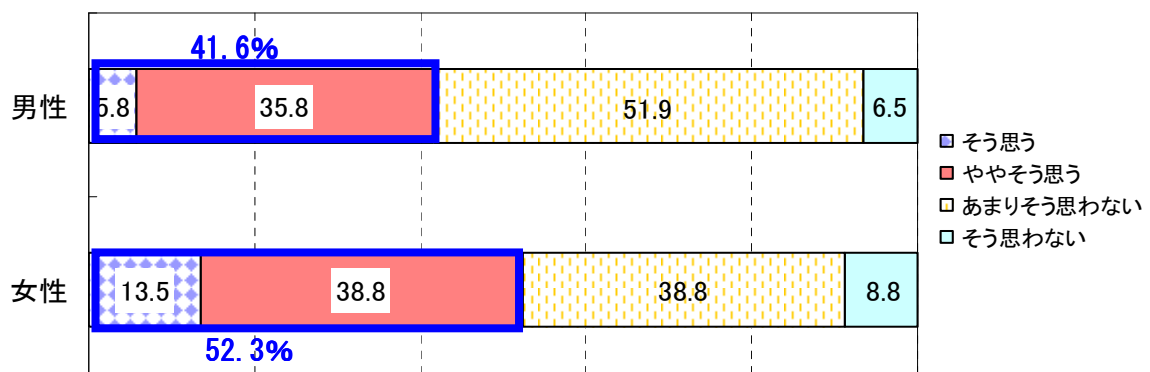


◇自分のことを考えてもらうとき、精神的なことだけでなく行動であらわして欲しい割合も女性は5割を超える

相手に対して自分のことを考えてもらうとき、精神的なことだけでなく行動であらわして欲しいと思う夫は41.6%に対し、妻は52.3%と2人に1人が「行動」であらわして欲しいと思っています。

*どのような行動であらわしてほしいか、については添付自由回答参照

自分のことを考えるとき行動であらわして欲しい

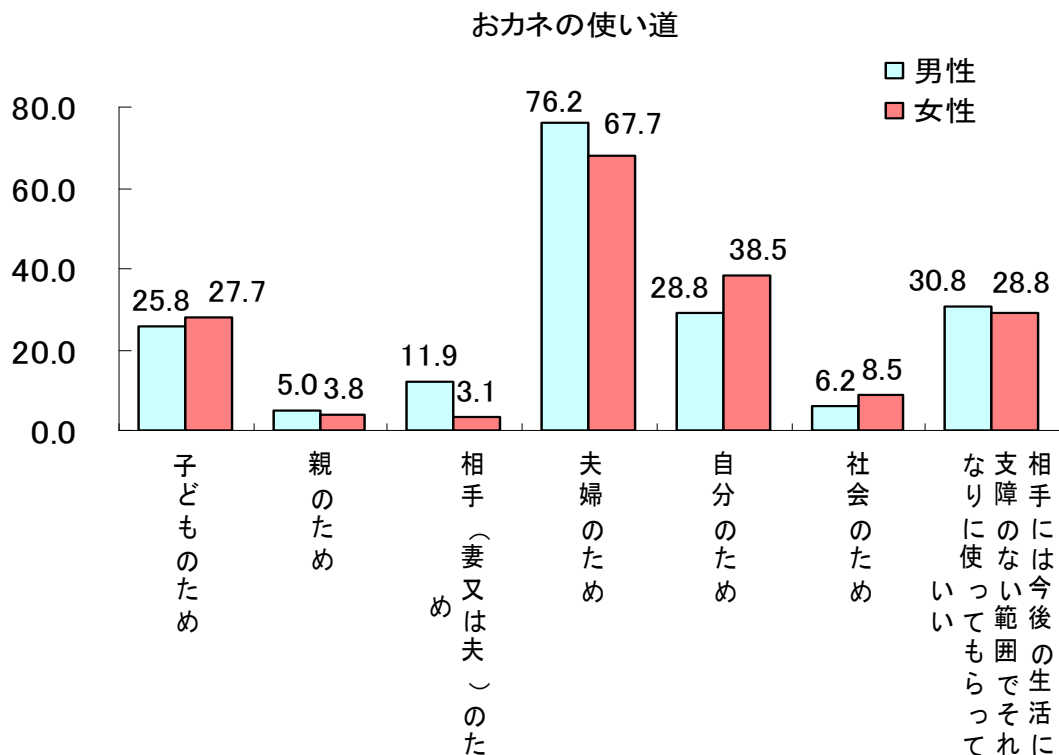


◇おカネの使い道について「夫婦のために」が夫も妻も断トツ1位だが、夫の2位は「相手に使ってもらってもいい」であり、1割強は「妻のため」である。夫は「妻におカネを使ってもらってもいい」と思っている。

おカネの使い方については、妻は1位夫婦のため（67.7%）、2位自分のため（38.5%）、3位が支障のない範囲で相手に使ってもらってもいい（28.8%）。

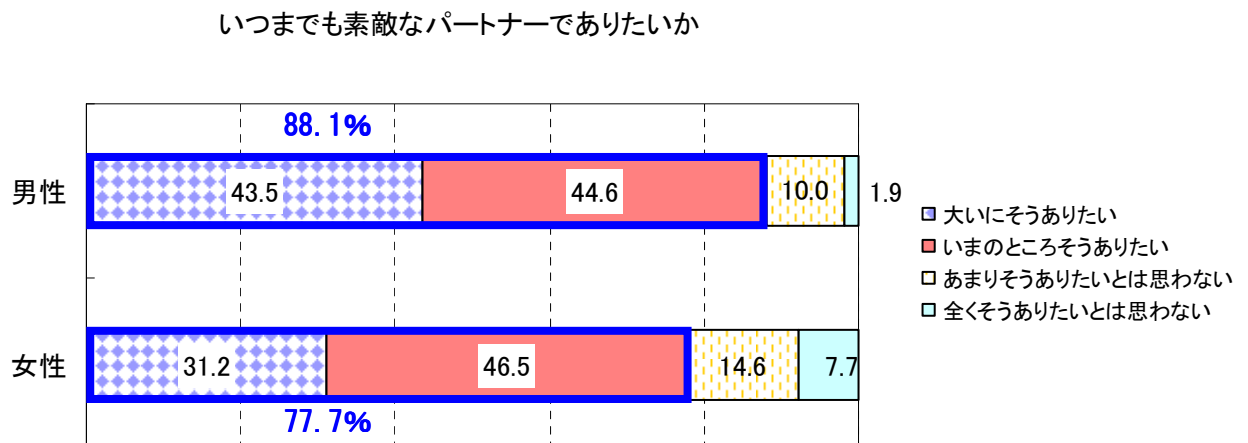
夫は、1位夫婦のため（76.2%）、2位支障のない範囲で相手に使ってもらってもよい（30.8%）、3位自分のため（28.8%）となっている。妻と比べて2位と3位が逆転し、自分のためよりも「相手に使ってもらってもよい」が上位に来ている。

また、夫の11.9%が「妻のために使いたい」と、30.8%が支障のない範囲で妻にはおカネを使ってもらっていい、と思っているのに対し、妻は自分のために使いたいのが38.5%と、お金に関してはシビアな女性の姿が伺えます。



◇本当は、「いつまでも素敵なパートナーでありたいと思っている」が、夫婦ともに8割前後。

「いつまでも素敵なパートナーでありたいか」という問いに対しては夫が88.1%、妻が77.7%と高ポイント。本当は、お互いに「いつまでも素敵なパートナーでありたい」と思っていることが伺えます。



◇参考：

精神的なことだけでなく、行動であらわして欲しい場合、具体的にどのような行動であらわして欲しいですか。（自由回答）

※（ ）内数字は年齢

<女性>

- ・もっと積極的に、家事、料理を手伝ってほしい。（女性 58）
- ・夜遊びをやめてほしい。一言、ありがとうをいってほしい。（女性 58）
- ・誕生日や結婚記念日などに、それなりの言葉や贈り物などで気持ちを表してほしい。（女性 58）
- ・感謝の言葉をかけてほしい。（女性 58）
- ・たまにはプレゼントなど買ってくれる。（女性 58）
- ・自分のことは自分でできるようにしてほしい。（女性 59）
- ・皿洗い 風呂掃除 をやってくれればあとはなくてよい。（女性 59）
- ・口では何とでも言えるが愛を行動で表すのは相手が喜ぶことが自分の喜びと感じる認識に欠けている人には言っても無駄です。今の自分に大事なのは夫以外の家族がいれば十分です。（女性 59）
- ・プレゼント、外食、外出など形あることをしてもらいたい。（女性 59）
- ・会社での仕事が減った分、家でテレビばかり見ないで、たまには下手でも良いから、妻のために食事を作って欲しい。（女性 60）
- ・感謝の言葉が欲しい。男だからなんでも自分中心で言う事を聞けという、横柄な態度、行動、思いはやめて欲しい。せめて病気の時ぐらい自分の世話は自分でして欲しい。私は主人の奴隷ではない。（女性 60）
- ・自分のことはじぶんでしろ。（女性 60）
- ・目を見て、やさしい言葉をかける。スキンシップはいらない。（女性 60）
- ・自己中心で行動することが多いので相手の気持ちも考えて行動してほしい。（女性 60）
- ・「人間は外見ではなく中身が大事」といつも言っていますが、半分は外見（それなりの家・着る物・旅行など）も大事と思うので外見の磨きもやって欲しい。（女性 61）
- ・口先だけでなく家事をする。（女性 61）
- ・小言を言う前に、行動する。（女性 61）
- ・もっと家事の分担を増やして欲しい。（女性 62）
- ・料理を満足しているのはわかるが、美味しいとか感想を言って欲しい。（女性 62）
- ・たまには照れずに手をつないで欲しい。（女性 62）

<男性>

- ・一緒に外出することをふやしたいと思う。（男性 58）
- ・“自分と子供だけ優先にしない。たとえば、家庭内の行事スケジュールを決めるとき、自分や子供たちだけで決める、自分の都合ももっと考えてほしい。”（男性 58）
- ・自分の行きたい所に同意して付いてきて欲しい。（男性 58）
- ・毎日の食事をもう少し雑にしないで、せめて子供ができる以前のようにしてほしい。（男性 58）
- ・休日等は一緒に出かけて欲しい。（男性 59）
- ・外出など誘ったら、できるだけ一緒についてきて欲しい。（男性 59）
- ・考えてから、しゃべって欲しい。無理だと思うけど————。（男性 59）
- ・小遣いを上げる、仕事もしてほしい。（男性 60）
- ・相手を思いやるような言葉をかけたりして欲しい。（男性 61）
- ・キスをする。（男性 61）
- ・肩や腰を揉んで欲しい。（男性 61）
- ・私の行動に、細かいことを言わないで欲しい。（男性 62）
- ・じぶんのいけんにたまにはすなおにしたがつてもらいたいときがある。（男性 62）
- ・休日に一緒に楽しく過ごす。（男性 62）

ご参考

■エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定

導入期 50～64歳

本格期（高齢者） 65歳以上

前期高齢者 65～74歳

後期高齢者 75歳以上

■これまで発行したHOPEレポート

1. HOPEレポートⅠ ニューエルダーの登場 (2001年5月・既報)
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPEレポートⅡ 情報縁：つながる場 (2001年7月・既報)
・ユニバーサルデザイン
3. HOPEレポートⅢ 情報縁：つながる関係 (2001年8月・既報)
・エルダーの人間関係
4. HOPEレポートⅣ 情報縁：3世代コミュニケーション (2001年9月・既報)
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPEレポートⅤ 「エルダー層のお金に対する意識調査」 (2001年11月・既報)
6. HOPEレポートⅥ つながるメディア「ラジオとエルダー」 (2001年11月・既報)
7. HOPEレポートⅦ 「エルダーと旅」 (2002年3月・既報)
8. HOPEレポートⅧ 「50代調査速報」 (2002年7月・既報)
9. HOPEレポートⅨ 「HOPEサーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」 (2002年10月・既報)
10. HOPEレポートⅩ 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」 (2003年3月・既報)
11. HOPEレポート増刊「『新しい大人文化』創造のヒント『開け ひま』」 2003年10月・既報
12. HOPEレポートⅩⅠ 「50代夫婦のパートナー評価」 (2003年12月・既報)
13. HOPEレポートⅩⅡ 「エルダーの食生活調査」 (2004年2月・既報)
14. HOPEレポートⅩⅢ 「エルダーと健康調査」 (2004年4月・既報)
15. HOPEレポートⅩⅣ 「3世代（ジェネレーション）クロス調査」 (2004年7月・既報)
16. HOPEレポートⅩⅤ 「団塊夫婦の定年意識に関する調査」 (2004年9月・既報)
17. HOPEレポートⅩⅥ 「団塊世代のエンタテインメント実態調査」 (2005年4月・既報)
18. HOPEレポートⅩⅦ 「団塊世代のファッション実態調査」 (2005年7月・既報)
19. HOPEレポートⅩⅧ 「エルダーの情報縁とタッチポイント」 (2005年9月・既報)
20. HOPEレポートⅩⅨ 「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査」 2005年10月・既報
21. HOPEレポートⅩⅩ 「団塊男性～定年後に目指す男のロマン実態調査」 (2006年5月・既報)
22. HOPEレポートⅩⅩⅠ 「HOPEサーベイ 団塊世代 人生60年の棚卸し」 (2006年12月・既報)
23. HOPEレポートⅩⅩⅡ 「団塊世代 60歳以降の人生設計」 (2007年2月・既報)
24. HOPEレポートⅩⅩⅢ 「団塊リタイア調査①退職金の使い方」 (2007年4月・既報)
25. HOPEレポートⅩⅩⅣ 「団塊リタイア調査②今後の生活と暮らし方」 (2007年6月・既報)
26. HOPEレポートⅩⅩⅤ 「団塊夫婦の関係」 (2007年7月・既報)
27. HOPEレポートⅩⅩⅥ 「絶滅！？する中高年」 (2009年2月・既報)
28. HOPEレポートⅩⅩⅦ 「団塊夫婦調査①夫婦はやはり“すれ違い”!?」 (2009年4月・既報)
29. HOPEレポートⅩⅩⅧ 「団塊夫婦調査②夫婦関係改善の手立て」 (今回)

* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。
(11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です)